

緑と水の森林ファンド 助成事業

第20回 九州森林フォーラム

# 山へ向かう人々の群像

～IUターン者の活躍と山村の未来～

2015.11.27(金)～28(土)

場所：木魂館（熊本県阿蘇郡小国町北里 371-1）

主催  
NPO法人 九州森林ネットワーク

11月27日(金)

どなたでも  
参加無料

13:30～ 開会

13:35～ (80分)

「お仕事・暮らしはありますか」本音トーク大会  
～15分休憩～

15:10～ (100分)

「山村だからこそ〇〇だ」ワールドカフェ  
～40分間フリートタイム～

17:30～ (30分) 木魂館 施設案内、木の駅 見学

18:30～ (120分)～夜通し? 懇親会

都市と田舎の境界線は曖昧ですが、確かに“違い”があり、だからこそ「山村」を選んで移住する人々がいます。山村での暮らしに対する印象は人それぞれだと思いますが、知らない土地に足を踏み入れることには楽しいこともあれば悩むこともあるのではないのでしょうか。

そこでフォーラム初日では、山村に魅力を感じて移住した人々を中心に本音トークのゲスト、2日目の講師の方々と交えて“今のお仕事・暮らしはありますか本音トーク”を開催し、“山村だからこそ〇〇だ!”をみなさんと話し合っていきたいと思います。

## 《交流会》

18:30～20:30

会場：北里パラン

会費：4000円

交流会のみの参加も大歓迎です！！

将来、半数近い自治体が消滅すると警告される中、「人口の問題を人々が暮らす地域のあり方と共に考える」という藤山氏は、増田レポートとは異なる状況が起こっていると指摘しています。

今回の基調講演では中国山地での調査事例と共に、山間部の共同体を持続させるためにはどのような方策があるのかを具体的に提案していただきます。

11月28日(土)

会員・小国町内の方  
参加無料

10:00～(120分) 基調講演

藤山浩氏「田園回帰1%戦略～地元の人と仕事を取り戻す～」75分

江藤理一郎氏「小国町における移住定住の状況について」30分  
～昼食 60分～

13:00～(105分) パネルディスカッション

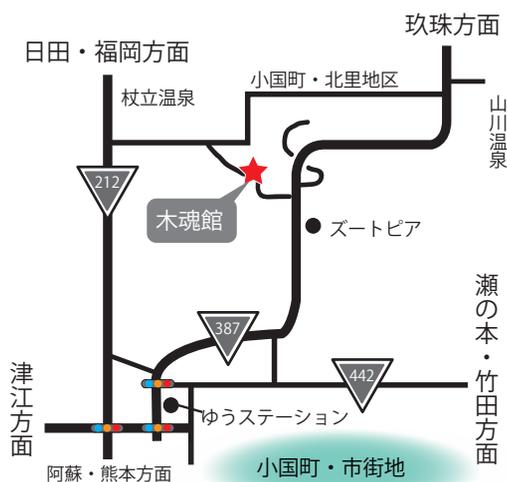
《パネリスト：基調講演講師2名、上垣嘉寛氏、田村哲氏》

14:45 閉会

15:00 終了

みなさんの地域の現状と将来を  
考えていく機会になればと思います。

## 小国町・市街地から会場までのアクセス



【共催】小国町山村活性化協議会 【協賛】公益社団法人 国土緑化推進機構  
【後援】熊本県、大分県、福岡県、鹿児島県、宮崎県、佐賀県、小国町、  
諸塚村、小国町森林組合、(株)トライ・ウッド

お名前：	
所 属：	
住 所：	
電話番号：	FAX：
参加日程： 11/27(金)のみ ・ 11/28(土)のみ ・ 両日参加 ★11月28日フォーラムの資料代1000円は、NPO九州森林ネットワーク会員・小国町内以外の参加者から頂戴させていただきます。	
交流会：	参加(¥4000) ・ 不参加
宿 泊：★宿泊費は朝食代込の価格となります	希望(¥4104) ・ 不要
弁 当：★28日の昼食分です	希望(¥800) ・ 不要
Eメール：	
通信欄	

### 趣 旨

林野庁による「緑の雇用」事業や総務省による「地域おこし協力隊」など、農山村に若者達が移住する制度をきっかけにして、九州の山村にも都市からUターンやIターン者が増加しています。2000年までは主に定年後移住というものが主流でしたが、近年、若者や子育て世代の移住が増加していること、特に2011年の東日本大震災を契機に農山村に向かう人々の流れが大きくなっていることが指摘されています。それは「田園回帰」現象とも表現されるようになっており、Uターン者の活躍なしに山村の未来も語れません。

一方で、日本創成会議によるいわゆる増田レポート（2014年6月）は「2040年までに896の自治体が消滅する」と報告するなど、農山村の存在する意義が問われる時代でもあります。現在、農山村回帰と限界集落・消滅自治体の主張とがせめぎ合う状況にあると言えます。

こうした現在の日本社会の中で、山に向かっている人々は何に魅力を感じ、何を求め、山村にどういった風を吹き込んでいるのか、逆に何に戸惑い、農山村は今なにをすべきなのでしょう。「九州の山々とマチを結ぶ」をテーマに開催してきた九州森林フォーラム。その20回目となる記念フォーラムでは藤山氏を基調講演者に迎え、その後、九州の山々で林業や地域おこしに携わっている皆さんからの本音トークをまじえ、ともに山村の未来を考えるフォーラムにしたいと思ひます。 ご参加のほど、宜しくお願い申し上げます。

### 【講師紹介】



#### 藤山浩 氏

島根県中山間地域研究センター 研究統括官

一橋大学経済学部卒業後、高等学校教諭、中国・地域づくりセンター主任研究員などを経て島根県中山間地域研究センター、2004年より現職。専門は中山間地域政策、地域計画、環境管理、GISなど。2008年広島大学大学院より博士号(マネジメント)取得。島根県出身。



#### 江藤理一郎 氏

一般財団法人 学びやの里 事務局長

小国町生まれ。明治大学卒業後、故郷にUターン。2008年より財団法人学びやの里に勤務し2011年から現職。現在、北里柴三郎記念館や宿泊・温泉・食堂などを町からの指定管理事業を運営する一方、九州ツーリズム大学・農泊教育旅行・移住定住・木の駅プロジェクトなど地域おこし事業を展開中。

### 【パネリスト紹介】



#### 田村 哲 氏

島根県邑南町役場 定住促進課

1990年 旧石見町役場に入職。2004年10月に2町1村で町村合併し邑南町となり、福祉課児童福祉係を担当。2013年に現在の定住促進課へ移動。定住係を担当し「日本一の子育て村」を目指す定住促進を推進。島根県石見町(現在の邑南町)出身。



#### 上垣 嘉寛 氏

NPO法人「自伐型林業推進協会」事務局長  
先祖の山守り隊 事務局長

2005年早稲田大学教育学部卒 同年よりメーカー勤務  
2008年よりインターネットメディア『THE JOURNAL』にて映像記者として活動。以後、農林業に関する企画や著書を発表。2014年から現在に至る。

邑南町は「日本一の子育て村構想」を掲げ、中学校卒業までの医療費と第2子以降の保育料などを無料にするなどの積極的な子育て支援を打ち出し、多くの移住者を受け入れています。この取り組みが目され、全国から視察が相次いでいる今注目の自治体です。

お問い合わせ先  
&  
申し込み先

NPO 法人九州森林ネットワーク事務局  
〒877-0311 大分県日田市上津江町川原 2810-1  
(株)トライ・ウッド 総務企画部事務所 内

NPO法人九州森林ネットワークは九州内の森林・林業・木材に関わる会員が集まる団体です。(自治体、森林組合、建築家、大学教授…など) 興味のある方、まさにそのお仕事をされているかた、どなたでも大歓迎ですので、一緒に「九州の森林のこれから」を考えていきませんか？  
随時会員募集中です！！

★年会費3,000円、年二回の通信紙、研修・フォーラム開催

TEL : 0973-55-2888 FAX : 0973-55-2656